



## **NVIDIA、AI でレンダリング性能をスーパーチャージ**

NVIDIA DGX Station で実行される新しい OptiX 5.0 がサーバー  
150 台分のレンダリング性能を実現

**ロサンゼルス—SIGGRAPH 2017—(2017 年 7 月 31 日)—**NVIDIA は本日、強力な最新のレイトレーシング機能を備えた NVIDIA OptiX™ 5.0 SDK をリリースして、レンダリングに人工知能 (AI) の能力を取り入れることを発表しました。

NVIDIA が最近発表したデスクサイドの AI ワークステーションである NVIDIA DGX Station™ で OptiX 5.0 を実行すると、デザイナーやアーティストのほか、プロのコンテンツクリエイターの皆さまは、標準的な CPU ベースのサーバー 150 台分のレンダリング性能を得ることができます。このような GPU アクセラレーテッドコンピューティングへのアクセスによって、反復作業やイノベーションを驚くべきスピードとパフォーマンスで進めながらも、コストを数分の 1 に抑えることが可能になります。

NVIDIA のプロフェッショナルビジュアライゼーション事業のバイスプレジデントであるボブ・ペティ (Bob Pette) は、次のように述べています。「当社のプラットフォームを利用される開発者の皆さまは、何百万人ものアーティストやデザイナーが各自のデスクにいながらにしてレンダーファームの機能にアクセスできるようにすることが可能になります。OptiX ベースのアプリケーションを開発することで、AI の卓越した能力を顧客にもたらし、その創造力を高めて、生産性を大幅に向上させることができるでしょう。」

OptiX 5.0 の新しいレイトレーシング機能は、デザインやキャラクターを可視化するために必要なプロセスを加速し、プロのクリエイターが独自のコンテンツを操作できる能力を大幅に高めます。AI による新しいノイズ除去機能を備え、画像からのグレインの除去を高速化します。また、リアリスティックなアニメーション効果には、GPU アクセラレーテッドのモーションブラーを採用しています。

OptiX 5.0 は、登録済み開発者の皆さまを対象に、11 月に無償で提供される予定です。

### **レンダリングアプライアンスが AI のワークフローを促進**

DGX Station で NVIDIA OptiX 5.0 を実行することで、コンテンツクリエイターの皆さまは、トレーニングや推論、レンダリングを大幅に加速できます。デスクの下に収まる静音性の高いシステムである NVIDIA DGX Station は、NVIDIA Volta 世代の最新 GPU を搭載し、もっとも強力な AI レンダリングシステムを実現します。

コンテンツクリエイターの皆さまが DGX Station と同等のレンダリング性能を達成するには、約 200 キロワットの電力を必要とする [150 台を超えるサーバー](#) で構成されたレンダーファームにアクセスできる必要があります (対して、DGX Station は 1.5 キロワット)。そのようなレンダーファームの購入と運用にかかるコストは、3 年間で 400 万ドルに達するでしょう (対して、DGX Station は 75,000 ドル未満)。

### AI ベースのグラフィックスに対する業界のサポート

NVIDIA は、仮想世界のレンダリングやデザイン、キャラクターの生成、創造に AI を利用するための道筋をつけるべく、世界できわめて重要なテクノロジー企業の多くや、ハリウッドのスタジオ各社の先見のクリエイターと連携して取り組んでいます。NVIDIA の最新のイノベーションには、各社が幅広いサポートを表明しています。

- 「AI はあらゆる業界に変革をもたらしています。当社は、NVIDIA の最新の AI テクノロジーによって映画製作プロセスがいかに改善されるか、楽しみにしています。」 -- ピクサー、バイスプレジデント兼 CTO、スティーブ・メイ (Steve May) 氏
- 「私たちは NVIDIA OptiX の大ファンです。OptiX によって、当社の Clarisse レンダラーのレイトレーシングコアを NVIDIA GPU に移植すると同時に、当社の開発コストを大幅に削減することができました。また、きわめて高速なパフォーマンスを達成できます。さらに、AI アクセラレーテッドのノイズ除去機能によって大幅にレンダリング時間を短縮できる可能性のある OptiX 5 は、生産ワークフローの状況を一変させることができるでしょう。大いに期待しています。」-- Isotropix、プリンシパルエンジニア、ニコラ・ギアール (Nicolas Guiard) 氏
- 「AI にはクリエイティブなプロセスを加速できる可能性があります。当社は、将来、当社のアーティストの創造力が AI によって解放されると考えています。それは、ペイントブラシが本当に "考える" ことが可能になり、わずか数年前には想像もつかなかったイメージや体験をアーティストが生み出せるようになる、そんな将来です。Technicolor では、NVIDIA と同じビジョンを共有し、クリエイターがユーザーの体験を深めることができるよう、ツールセットの拡張を目指します。」 -- Technicolor、テクノロジー戦略担当バイスプレジデント、スタ・カマル (Sutha Kamal) 氏

### NVIDIA について

NVIDIA が 1999 年に開発した GPU は、PC ゲーム市場の成長に拍車をかけ、現代のコンピューターグラフィックスを再定義し、並列コンピューティングを一変させました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI、つまりコンピューティングの新時代の火付け役となり、世界を認知して理解できるコンピューター、ロボット、自動運転車の脳の役割を GPU が果たすまでになりました。今日、NVIDIA は「AI コン

ピューティングカンパニー」として知名度を上げています。詳しい情報は、<http://www.nvidia.co.jp/>をご覧ください。

#### **NVIDIA についての最新情報:**

公式ブログ [NVIDIA blog](#)、[Facebook](#)、[Google+](#)、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#)、NVIDIA に関する動画 [YouTube](#)、画像 [Flickr](#)。

NVIDIA OptiX 5.0 SDK および NVIDIA DGX Station の影響、利点、パフォーマンスおよび可用性に関する記述、AI による業界の変革や、AI がクリエイティブなプロセスを加速する可能性に関する記述を含め (ただし、これらに限定されません)、本プレスリリースに記載されている記述の中には、将来予測的なものが含まれており、予測とは著しく異なる結果を生ずる可能性があるリスクと不確実性を伴っています。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、当社製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウェアの欠陥、ユーザーの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェースの変更、システム統合時に当社製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form10-Q の 2017 年 4 月 30 日を末日とする四半期レポートなど、米証券取引委員会 (SEC) に提出されている NVIDIA の報告書に適宜記載されます。SEC への提出書類は写しが NVIDIA のウェブサイトに掲載されており、NVIDIA から無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務を NVIDIA は一切負いません。

© 2017 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA のロゴ、DGX Station および OptiX は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有企業の商標または登録商標である可能性があります。機能、価格、可用性、および仕様は予告なしに変更されることがあります。